

MATSUMOTO YAMAGA F.C.

vs Saucos Fukui

Sunday 13 April

08 HFL Division 1 week 1

俺らは常に挑戦者！

山雅サポーターとして

まず初めにご挨拶から。今年度もコールリーダーを務めさせていただきます、ようへいです。よろしくお祈りします。

さて、という訳で開幕です。今シーズンの最大目標は何といっても念願のJFLへの昇格！クラブとしても今年を勝負の年と位置づけ、何としてもこれを果たそうという意気込みが感じられます。しかし、そういった上昇志向のクラブがそれこそ日本中に存在する今、その中で頭一つ抜け出すのは、やはり相当に厳しい戦いになるでしょう。勝負はほんの少しの違いで決まるぐらいの、競ったものになるはず。

そんな戦いを勝ち抜くためには、やはりサポーターの力が重要になってくるのではないかと、僕は思います。一瞬の気の緩みが一年を決めてしまう程の極限状態の中、もしも選手達がサポーターの声援で少しでも頑張れるのなら、僕らの応援が勝負を決める少しの追い風になる可能性はあります。

方法は何だって良いんです。

例えば良いプレーに対して拍手をするだけでも、選手達にはモチベーションになると思います。

ゴール裏のサポーターが飛び跳ねたり、歌を歌うのだって、選手を奮い立たせたり、スタジアムの空気を前向きにするための一つの方法なんです。

だから、この記事を読んでいる山雅サポーターの皆さん。今年もみんなの力を合わせて、山雅を勝たせる空気をアルウィンに作り出しましょう。メインもバックもゴール裏も、スタジアムに來れない人だって、そんな垣根なんて関係なく、僕らは山雅サポーターとして、できることを思いっきりやりましょう！それさえやりさえすれば、きっとピッチの選手達はそれに応えてくれる。僕はそう信じています。

気持ちを一つに。

今年も山雅と共に戦いましょう！

よろしくお祈りします！

[written by ようへい]

Brand-new day !

松本山雅FCの2008年がスタートします！

JFL昇格へ、間違いなく掴みかけていた蜘蛛の糸を手放してしまったあの日……。その道の険しさに思わず弱音を吐いてしまった事も一度や二度ではなかったけれど、それでももう一度チャレンジするために、僕たちはこの日を迎えました。

別れの季節に、思いもかけない「さよなら」を告げなければならない場面にも遭遇しました。でも、クラブが上を目指すために避けて通れぬ道だと理解しているからこそ、僕らは涙を振り払ったつもりです。

記念すべきオープニングゲームの対戦相手に迎えるのは、サウクルス福井。

今年から北信越リーグ1部で戦うニューフェイスで、同じ「Jリーグ昇格」を目指すライバルです。

昨年の全社北信越予選では2-0で勝利しているものの、1部での戦いに向け、幾人かの新戦力を補強しています。リーグチャンピオンに一泡吹かせてやろうと燃えていることは想像に難くありません。ただでさえ新加入選手の多い今年。焦燥感に駆られるのもわかります。個々の力量に疑いはないけど、組織としてはどうか……。勝って当然、負けることの許されない初戦。そのプレッシャーは並大抵のものではありません。

「今年は大丈夫だろうか……」「もしかしたら負けてしまうかも……」

あえて言います。ネガティブな感情は周辺に「伝染」してしまいます。根拠のない楽観論を打ち出すつもりは毛頭ないけれど、サポーターは最後の最後までプレーヤーを鼓舞するのが仕事です。絶対勝てる。いや、勝たせる。僕らはピッチに立つことは出来ないけれど、声援や手拍子で目に見えないチカラを送ることは出来ます。疲労困憊の選手にあと一歩を踏み出させる、見えないチカラを。だから、僕らは背番号12を背負っているのです。

有料試合化となって最初のゲームです。本日、アルウィンに足を運んでいただいたお客様は新たなる第一歩を共に踏み出す仲間です。選手やスタッフ、関係者やメディアの皆様と同じように、松本山雅FCの歩む歴史の目撃者なのです。

「ULTRA STYLE」を読んでいただいている皆様に、僕たち「ULTRAS MATSUMOTO」は約束します。この試合だけでなく、シーズンの最後の最後まで、僕たちはあきらめることなく選手と共に闘います。

願わくは、お読みいただいている皆様のお力をお貸し下さい。いつもよりほんの少しだけ、声援を、手拍子を、大きくしてみてください。

さあ、試合開始のホイッスルが鳴るのは、もうすぐです！

[written by sapo]